

政策評価・事務事業評価シート

事業名称 1%まちづくり事業

市民経済委員会

	H26 年度予算額	(参考) H25 年度決算額	(参考) H24 年度決算額
事業費	60,000,000 円	42,997,000 円	31,543,000 円

事業評価チェック表

PLAN	<ul style="list-style-type: none"> 事業の概要 市税の1%程度を財源に、地域コミュニティを活性化させるため、住民と行政が一緒になってまちづくりを行う事業 ねらい 市民の参画と協働のまちづくりの実践 予算 1%まちづくり事業補助金 60,000,000 円 																																																																																					
	<ul style="list-style-type: none"> 事業実績 平成25年度申請件数 129 件、採択件数 128 件、取り下げ件数 1 件 採択金額 46,117,000 円 事業実施件数 127 件、決算見込み額 42,997,000 円 																																																																																					
CHECK	<table border="1"> <tr> <th>評価項目</th> <th>評価基準 (概要欄の○)</th> <th>評価点</th> <th>評価コメント</th> </tr> <tr> <td rowspan="5">必要性 (市民ニーズ)</td> <td>きわめて必要性が高い (20 点)</td> <td>○</td> <td rowspan="5">20 地域コミュニティを活性化するための事業として、また、参画と協働のまちづくりのため、市民が主体となったきわめて必要性が高い事業。</td> </tr> <tr> <td>必要性が高い (15 点)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>どちらかと言えば必要性がある (10 点)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>必要性が低い (5 点)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>必要性がない (0 点)</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">公共性 (市で行わなければならないか)</td> <td>市が行わないといけない (20 点)</td> <td></td> <td rowspan="4">15 地域コミュニティの活性化のための仕掛けの一つであり、市で公共的に行う部分も多い。市民の発案により事業を行うということを考えれば公共性は高い。</td> </tr> <tr> <td>公共性が高い (15 点)</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>どちらかと言えば市が実施 (10 点)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>公共性が低い (5 点)</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="5">費用対効果 (コストに見合った成果があるか)</td> <td>きわめて効果的である (20 点)</td> <td></td> <td rowspan="5">10 継続事業が多く、前年と同じ事業については、予算的に改善・工夫する余地がある。参画と協働のまちづくりの部分では効果はあったが、広がりの部分で疑問が残る。</td> </tr> <tr> <td>効果的である (15 点)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>どちらかと言えば効果的 (10 点)</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>どちらかと言えば非効果的 (5 点)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>非効果的である (0 点)</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">優先性 (他事業に優先し実施する必要があるか)</td> <td>きわめて優先性が高い (20 点)</td> <td></td> <td rowspan="4">15 地域コミュニティを維持するため優先性が高い事業。教育、福祉、安全など、きわめて優先性が高い事業の次に、市で取り組むべき事業だと考えられる。</td> </tr> <tr> <td>優先性が高い (15 点)</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>どちらかと言えば優先性がある (10 点)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>優先性が低い (5 点)</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="5">成果 (目標の達成状況)</td> <td>きわめて成果があがっている (20 点)</td> <td></td> <td rowspan="5">15 市民が参加するという意識に変わってきている。必要があれば1%で行うという声や、事業を行った甲斐があるという声も聞き、まちに明るさや活気が出てきた。</td> </tr> <tr> <td>成果があがっている (15 点)</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>どちらかと言えばあがっている (10 点)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>どちらかと言えばあがっていない (5 点)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>成果はあがっていない (0 点)</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="6">ACTION</td> <td> <table border="1"> <tr> <th colspan="2">総合評価基準</th> <th>計</th> <th>課題</th> </tr> <tr> <td>5</td> <td>きわめて良好である 80 点以上</td> <td></td> <td rowspan="6">4 実施から 8 年がたち、事業全体を見直す時期に来ている。継続事業が多いことによるマンネリ化への懸念。実施団体の高齢化と後継者不足問題。行政提案型や、対象事業の拡大等による事業の活性化などが必要。</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>適正である 60~79 点</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>おおむね適正である 40~59 点</td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>問題がある 20~39 点</td> <td></td> </tr> <tr> <td>1</td> <td>不適正である 19 点以下</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> </td> </tr> </table>	評価項目	評価基準 (概要欄の○)	評価点	評価コメント	必要性 (市民ニーズ)	きわめて必要性が高い (20 点)	○	20 地域コミュニティを活性化するための事業として、また、参画と協働のまちづくりのため、市民が主体となったきわめて必要性が高い事業。	必要性が高い (15 点)		どちらかと言えば必要性がある (10 点)		必要性が低い (5 点)		必要性がない (0 点)		公共性 (市で行わなければならないか)	市が行わないといけない (20 点)		15 地域コミュニティの活性化のための仕掛けの一つであり、市で公共的に行う部分も多い。市民の発案により事業を行うということを考えれば公共性は高い。	公共性が高い (15 点)	○	どちらかと言えば市が実施 (10 点)		公共性が低い (5 点)		費用対効果 (コストに見合った成果があるか)	きわめて効果的である (20 点)		10 継続事業が多く、前年と同じ事業については、予算的に改善・工夫する余地がある。参画と協働のまちづくりの部分では効果はあったが、広がりの部分で疑問が残る。	効果的である (15 点)		どちらかと言えば効果的 (10 点)	○	どちらかと言えば非効果的 (5 点)		非効果的である (0 点)		優先性 (他事業に優先し実施する必要があるか)	きわめて優先性が高い (20 点)		15 地域コミュニティを維持するため優先性が高い事業。教育、福祉、安全など、きわめて優先性が高い事業の次に、市で取り組むべき事業だと考えられる。	優先性が高い (15 点)	○	どちらかと言えば優先性がある (10 点)		優先性が低い (5 点)		成果 (目標の達成状況)	きわめて成果があがっている (20 点)		15 市民が参加するという意識に変わってきている。必要があれば1%で行うという声や、事業を行った甲斐があるという声も聞き、まちに明るさや活気が出てきた。	成果があがっている (15 点)	○	どちらかと言えばあがっている (10 点)		どちらかと言えばあがっていない (5 点)		成果はあがっていない (0 点)		ACTION	<table border="1"> <tr> <th colspan="2">総合評価基準</th> <th>計</th> <th>課題</th> </tr> <tr> <td>5</td> <td>きわめて良好である 80 点以上</td> <td></td> <td rowspan="6">4 実施から 8 年がたち、事業全体を見直す時期に来ている。継続事業が多いことによるマンネリ化への懸念。実施団体の高齢化と後継者不足問題。行政提案型や、対象事業の拡大等による事業の活性化などが必要。</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>適正である 60~79 点</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>おおむね適正である 40~59 点</td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>問題がある 20~39 点</td> <td></td> </tr> <tr> <td>1</td> <td>不適正である 19 点以下</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	総合評価基準		計	課題	5	きわめて良好である 80 点以上		4 実施から 8 年がたち、事業全体を見直す時期に来ている。継続事業が多いことによるマンネリ化への懸念。実施団体の高齢化と後継者不足問題。行政提案型や、対象事業の拡大等による事業の活性化などが必要。	4	適正である 60~79 点	○	3	おおむね適正である 40~59 点		2	問題がある 20~39 点		1	不適正である 19 点以下				
	評価項目	評価基準 (概要欄の○)	評価点	評価コメント																																																																																		
	必要性 (市民ニーズ)	きわめて必要性が高い (20 点)	○	20 地域コミュニティを活性化するための事業として、また、参画と協働のまちづくりのため、市民が主体となったきわめて必要性が高い事業。																																																																																		
		必要性が高い (15 点)																																																																																				
		どちらかと言えば必要性がある (10 点)																																																																																				
		必要性が低い (5 点)																																																																																				
		必要性がない (0 点)																																																																																				
	公共性 (市で行わなければならないか)	市が行わないといけない (20 点)		15 地域コミュニティの活性化のための仕掛けの一つであり、市で公共的に行う部分も多い。市民の発案により事業を行うということを考えれば公共性は高い。																																																																																		
		公共性が高い (15 点)	○																																																																																			
		どちらかと言えば市が実施 (10 点)																																																																																				
公共性が低い (5 点)																																																																																						
費用対効果 (コストに見合った成果があるか)	きわめて効果的である (20 点)		10 継続事業が多く、前年と同じ事業については、予算的に改善・工夫する余地がある。参画と協働のまちづくりの部分では効果はあったが、広がりの部分で疑問が残る。																																																																																			
	効果的である (15 点)																																																																																					
	どちらかと言えば効果的 (10 点)	○																																																																																				
	どちらかと言えば非効果的 (5 点)																																																																																					
	非効果的である (0 点)																																																																																					
優先性 (他事業に優先し実施する必要があるか)	きわめて優先性が高い (20 点)		15 地域コミュニティを維持するため優先性が高い事業。教育、福祉、安全など、きわめて優先性が高い事業の次に、市で取り組むべき事業だと考えられる。																																																																																			
	優先性が高い (15 点)	○																																																																																				
	どちらかと言えば優先性がある (10 点)																																																																																					
	優先性が低い (5 点)																																																																																					
成果 (目標の達成状況)	きわめて成果があがっている (20 点)		15 市民が参加するという意識に変わってきている。必要があれば1%で行うという声や、事業を行った甲斐があるという声も聞き、まちに明るさや活気が出てきた。																																																																																			
	成果があがっている (15 点)	○																																																																																				
	どちらかと言えばあがっている (10 点)																																																																																					
	どちらかと言えばあがっていない (5 点)																																																																																					
	成果はあがっていない (0 点)																																																																																					
ACTION	<table border="1"> <tr> <th colspan="2">総合評価基準</th> <th>計</th> <th>課題</th> </tr> <tr> <td>5</td> <td>きわめて良好である 80 点以上</td> <td></td> <td rowspan="6">4 実施から 8 年がたち、事業全体を見直す時期に来ている。継続事業が多いことによるマンネリ化への懸念。実施団体の高齢化と後継者不足問題。行政提案型や、対象事業の拡大等による事業の活性化などが必要。</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>適正である 60~79 点</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>おおむね適正である 40~59 点</td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>問題がある 20~39 点</td> <td></td> </tr> <tr> <td>1</td> <td>不適正である 19 点以下</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	総合評価基準		計	課題	5	きわめて良好である 80 点以上		4 実施から 8 年がたち、事業全体を見直す時期に来ている。継続事業が多いことによるマンネリ化への懸念。実施団体の高齢化と後継者不足問題。行政提案型や、対象事業の拡大等による事業の活性化などが必要。	4	適正である 60~79 点	○	3	おおむね適正である 40~59 点		2	問題がある 20~39 点		1	不適正である 19 点以下																																																																		
	総合評価基準		計	課題																																																																																		
	5	きわめて良好である 80 点以上		4 実施から 8 年がたち、事業全体を見直す時期に来ている。継続事業が多いことによるマンネリ化への懸念。実施団体の高齢化と後継者不足問題。行政提案型や、対象事業の拡大等による事業の活性化などが必要。																																																																																		
	4	適正である 60~79 点	○																																																																																			
	3	おおむね適正である 40~59 点																																																																																				
	2	問題がある 20~39 点																																																																																				
1	不適正である 19 点以下																																																																																					

決算事業評価結果表

評価	<table border="1"> <tr> <th colspan="2">今後の方向性基準評価 (概要欄の○)</th> <th>評価</th> <th>決定理由</th> </tr> <tr> <td>5</td> <td>「拡充する」</td> <td></td> <td rowspan="5">3 様々な課題はあるが、事業自体は、必要なものであり、個々の事業の効率的な運営や、本来必要とされている予算規模まで事業を拡大するなど、事業の改善を図りながら継続していくべきである。</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>「現状のまま継続する」</td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>「改善・効率化し継続する」</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>「見直しのうえ縮小する」</td> <td></td> </tr> <tr> <td>1</td> <td>「不適正である」</td> <td></td> </tr> </table>	今後の方向性基準評価 (概要欄の○)		評価	決定理由	5	「拡充する」		3 様々な課題はあるが、事業自体は、必要なものであり、個々の事業の効率的な運営や、本来必要とされている予算規模まで事業を拡大するなど、事業の改善を図りながら継続していくべきである。	4	「現状のまま継続する」		3	「改善・効率化し継続する」	○	2	「見直しのうえ縮小する」		1	「不適正である」	
	今後の方向性基準評価 (概要欄の○)		評価	決定理由																	
	5	「拡充する」		3 様々な課題はあるが、事業自体は、必要なものであり、個々の事業の効率的な運営や、本来必要とされている予算規模まで事業を拡大するなど、事業の改善を図りながら継続していくべきである。																	
	4	「現状のまま継続する」																			
	3	「改善・効率化し継続する」	○																		
2	「見直しのうえ縮小する」																				
1	「不適正である」																				

事業名称	議会評価		特定理由 (今後の事業展開)
	総合評価	今後の方向性	
1%まちづくり事業	4	3	1%まちづくり事業は、市民が市と協働で事業を行うことにより、地域の活性化を図る素晴らしい制度である。しかし、近年は、継続事業が多くなったことによるマンネリ化や、事業実施数の地域格差、実施団体の高齢化や後継者不足などの課題が懸念されている。これらの課題解決のため、市民へのPR活動をより積極的に行うことや、行政提案型の事業の再検討など、市民が本事業に参加しやすくなるための施策を講じ、本来必要とされる予算規模まで、事業の拡大を図る必要がある。